

# 道志村方言における語彙の使用に関する調査報告

## —村内における地域差を中心に—

梁井 久江  
久保 紀彦  
越田 みつ美

### 1. はじめに

本稿の目的は、平成 12 年度山梨県南都留郡道志村にて行った語彙調査の結果を報告することにある<sup>1</sup>。

道志村は、図 1 に示すように、山梨県南東部、神奈川県との県境に位置し、東は神奈川県津久井郡津久井町、西は山梨県南都留郡山中湖村、北は同県都留市に接している。この村と外界を結ぶ陸上の交通路は、道坂峠を越えて都留市へ続く交通路と、村のほぼ中央を横断している国道の 2 本で、この国道に沿って、西から、善之木、神地、川原畑、長幡、久保という 5 つの集落が形成されているが、南方に位置する神奈川県足柄上郡山北町へ直接通じる道はない。これらの集落の位置関係について、詳しくは図 2 として挙げた調査地点図を参照していただきたい。

ところで、道志村では、村内における言葉の「地域差」に関し、村の人々自身が明確に意識している境界が存在している。川原畑地区谷相より以西が「上」(カミ)の地域、以東が「下」(シモ)の地域という区分である。前年度東京都立大学が同村で行った調査により、この「上」、「下」という地域区分を反映したものに、「かえる」を意味する語形の、分布上の対立があることがわかっている。しかしながら、前年度の調査で確認された「上」、「下」における語形分布の対立はこの例のみであり、「上」「下」という地域区分が、果たして、方言語彙の使用に関して一般に当てはまるのかどうか、当てはまらないとすれば、他にどのような「地域差」がみられるのかという点については明らかにされなかった。この問題は、取り上げた語彙項目数及び調査地点数が少なかったこととも関係があると思われる。また、道志村の方言語彙を扱ったものに杉

---

<sup>1</sup> 本稿は、2000 年 11 月 11 日、第 224 回都立大学方言学会において口頭発表したものを一部書き改めたものである。なお、都立大学方言学会での発表は、代表して市岡佳代、博多理恵、梁井久江の 3 名が行った。

本編 1996 があるが、記述があいまいである等問題が多く、道志村の方言語彙に関し包括的に整理されているとは言い難い。そこで、今回は、語彙項目数を多く設定し、道志村内という限られた地域において、いかなる「地域差」が存在するのかということに焦点をあわせて調査を実施した<sup>2</sup>。このような前提のもと、以下、方言語彙の地域差に注目し、結果を報告していくことにする。

## 2. 調査概要

### 2.1 調査期間

本調査の期間は、2000年9月2日～同月5日までの、計4日間であった。

### 2.2 調査方法

調査方法は、面接による質問調査である。質問文は、意味内容を示して語形を求める、〈なぞなぞ式〉質問が中心である。その際、複数調査者の共同調査であることから生じる「誤差」を極力なくするため、話者に絵を提示して回答を求めた。

また、被調査者が標準語形しか回答しなかった場合、予備調査及び先行研究の結果から得られた予想語形を示して、再度回答を求めた。

なお、標準語形を示してそれを翻訳するという方法をとらなかった主な理由は、(1) 回答が標準語形にひきずられることを避けたかったため、(2) 標準語形が俚言形と必ずしも同じ意味を表すわけではないと考えたため、である。

### 2.3 調査項目

本調査で取り上げたのは、動・植物、遊びの語彙からなる25項目である<sup>3</sup>。まず、日常基本的な語が多い、調査自体が比較的实施しやすい等の理由により以上の意味分野に限定した上で予備調査<sup>4</sup>を行い、その結果をふまえて本調査を実施した。また、選定した項目には、国立国語研究所1966『日本言語地図』、永瀬編1988『山梨県言語地

---

<sup>2</sup> 調査に参加したのは、東京都立大学平成12年度授業科目「方言学演習」を受講した学生11名と、教官2名、助手1名の、計14名である。

<sup>3</sup> 「おたまじゃくし」「かえる」「ひきがえる」「とかげ」「みみず」「とんぼ」「ありじごく」「かたつむり」「なめくじ」「はえ」「むかで」「じばち」「つくし」「すぎな」「イモの意味」「よもぎ」「たけうま」「おてだま」「びーだま」「かたあしとび」「かたぐるま」「じゃんけん(総称)」「じゃんけんのいし」「じゃんけんのはさみ」「じゃんけんのかみ」

<sup>4</sup> 予備調査は2000年7月6日～7日の2日間であった。

図集』と同じものが多く含まれているが、これは、同じ項目を調査することによって、先行研究で明らかにされた近隣地域における分布と比較・対照でき、より広い地域との言語的関連を見ることが可能になると考えたことによる。

## 2.4 被調査者

道志村に在住する高年層話者を対象にし、計 50 名の方からの回答を得た。うち有効回答者数は 48 名であった。表 1 に、集落別の被調査者数（有効回答者数）を一覧にしたものを示しておく。

なお、対象を高年層のみに絞り、若年層を対象外としたのは、この調査の目的が、「上」(カミ)、「下」(シモ)による語形の違い、集落による語形の違いなど、村内の語彙使用の地域差をみることにあったため、一村内という狭い地域にあって、共通語化の激しい若年層においてはより一層地域差がみとめにくいであろう、すなわち調査をする積極的な意味が小さいと判断したためである。

表 1 集落別、地区別、及び小学校区域(学区)別被調査者数(数字は人数を表す)

上/下	集落	小字	小学校	話者人数(名)		
上	善之木	長又	善之木小学校	2		
		白井平		1		
		板橋		1		
		川村		2		
	神地	中神地	唐沢小学校	2		
		東神地		5		
		釜之前		1		
		大指		4		
	川原畑	川原畑	唐沢小学校	4		
		谷相		1		
下		長幡		西和出	道志小学校	3
				東和出		2
	竹之本		4			
	馬場		2			
	大栗		3			
	小善地		2			
	椿		3			
久保	久保	久保小学校	1			
	大野		3			
	月夜野	月夜野小学校	2			

### 3. 結果と考察

調査の結果、取り上げた語彙項目が、その地域的な分布のありかたにより、いくつかの特徴的なパターンに分類できることがわかった。したがって、ここでは、まずそのパターンと、該当する語形を具体的に例として挙げた後、説明を加えることにする。この際、分布パターンを視覚的にみるために、話者の回答を道志村西端に位置する長又地区から東端に位置する月夜野地区まで順に配列、記号化し、図としてまとめた<sup>5</sup>。

もっとも、すべての語彙項目に関して、ある種の「地域差」があるわけではなく、村内全域に分布するものもある。しかしながら、ここでは、一村内において「地域差」がみられない分布も、ひとつの分布の「パターン」であると考え、考察の対象とすることにした。

なお、便宜上、取り上げた語彙項目を平仮名で、具体的に現れた語形を片仮名で表記することにする。

#### 3.1 村内全域にわたる分布

道志村村内全域に分布する語形には、さらに次のようなパターンの分類が考えられる。(1) 道志村の俚言が村内全域に広がって分布しているパターンと (2) 標準語化が進んだ結果、標準語形が全域に分布しているパターンの2種類である。したがって、以下、村内全域に分布する語形を、俚言形或いは標準語形に分類し考察する。

##### 3.1.1 俚言形

今回の調査で村内全域に分布する俚言形が現れた語彙項目は、「ひきがえる」、「つくし」、「みみず」、「よもぎ」、「たけうま」、「おたまじゃくし」の6項目であった。では、具体例をみてみよう。

図3は、語彙項目「よもぎ」に関する語形分布を示したものである。これをみると、俚言形「モチグサ」は村内ほぼ全域に分布していることから、俚言形でありながら依然として強い勢力を保っていることがわかる。図4に示した項目「たけうま」に現れた俚言形「タカアシ」（「タカシ」を含む）及び、図5に示した項目「つくし」の「ツクシンボー」もこれと同様である。

ただし、ここで注意しておきたいのは、このような俚言形が単独で使用されるのではなく、標準語形と併用する形で使用されることが多いということである。しかも、

---

<sup>5</sup> 以下の節で必要な図のみを、資料として稿末に付した。

語彙項目「つくし」の分布を示した図5では、俚言形「ツクシンボー」と標準語形「ツクシ」が話者の間で併用されているものの、村内において今や標準語形「ツクシ」の方が優勢なのは分布状況から明らかである。以上より、これらの俚言形は村内で決して安定して使用されているわけではなく、高年層より下の世代では標準語形の使用がより進行していることが推定される。

### 3.1.2 標準語形

前項で述べたように、村内における標準語形の使用はかなりの程度広がっている。実際、今回取り上げた全ての語彙項目で、標準語形の使用が確認されたほどである。しかし、俚言形が単独で使用されないのと同様、標準語形もまた単独で使用されていない。現時点では、先に示した図5の俚言形「ツクシンボー」と標準語形「ツクシ」のように、俚言形と標準語形との併用という状況が一般的である。これを典型的に示すものとして、この他、図6の「かえる」、図7の「とかげ」がある。

## 3.2 「上」、「下」の境、谷相を境界とした分布

前述のとおり、道志村に在住する人々は、村全体が「上」(カミ)、「下」(シモ)という二つの地域に分けられると考え、川原畑地区谷相より以西を「上」の地域、以東を「下」の地域と呼んでいる。「上」、「下」を分かち境界には、実際は斜面があるだけであるが、以下に示すように、この斜面が地理的な障害となり、方言語彙の使用において「上」、「下」の「地域差」を生むに至っている。今回の調査では、(1)「上」、「下」における連母音の融合形の違いを反映した語形分布の違いと、(2)これ以外の違いによる語形分布の違いについて、確認することができた。

### 3.2.1 「上」、「下」における連母音の融合形の違いを反映したもの

「上」、「下」における連母音の融合形の違いを反映したものとして典型的な例は、図6に示した「かえる」である。図6より、村内全域に分布している標準語形「カエル」を別にすると、谷相より以西の「上」の地域に「ギャーロ」が、以東の「下」の地域に「ゲーロ類」が明確に分かれて分布している。このことは、連母音[ae]の融合形が「上」の地域では[ja:]、「下」の地域では[e:]となるということを反映した結果である。この、「『かえる』を表す語について、『上』と『下』では語形が異なる」という事実は、多くの村人が知識として知っており、実際調査の間、話者自身がこの事実を指摘する場に何度も出会った。

---

<sup>6</sup> ここでは、「ゲーロ」「ケーロ」をまとめて、「ゲーロ類」と呼ぶ。

では、連母音[ae]を含む他の語における融合形はどのようになっているであろうか。連母音[ae]を含む「はえ」に関し、具体的に現れた語形分布を図式化したものが、図8である。「ハエ」<sup>7</sup>が村内全域に分布しているが、連母音の融合に注目すると、「上」の地域では「ヒャー」が、「下」の地域では「ヘー」が、つまり、「上」では[ja:]、「下」では[e:]となっていることがわかる。この「上」、「下」における語形の対立は、前述の「かえる」と同様の結果であり、連母音[ae]の融合形の相違が、ある種の語彙に依存するのではなく、比較的規則的に存在することを示唆しているといえる。もともと、「ハエ」に付加成分のついた「クソンバエ」の音声的な変種である「クソンビャー」及び「クソンベ(ー)」では、前者は「上」の地域にしか分布していないものの、後者は「下」だけでなく「上」の地域にも2例分布しており、「上」、「下」における、連母音の融合形[ja:]、[e:]の明確な対立はもはや存在していない。このような分布を示した原因としては、複合語の一成分となり、「クソンビャー」或いは「クソンベ(ー)」という形で固定化したことにより、連母音の融合形による「上」、「下」の対立が話者に意識されなくなったのではないかと考えられる。

### 3.2.2 連母音の融合形の違ひによらないもの

「上」、「下」の「地域差」を示す語形の対立は、連母音[ae]の融合形の違ひを反映したものに限らない。今回の調査では、図9に示す「かたあしとび」の場合のように、使用される語形そのものが「上」の地域と「下」の地域とでは異なるものがあることが明らかになった。

図9に挙げてあるとおり、道志村内において「かたあしとび」を表す語形は比較的多くみられたが、「上」の地域にはチンギリ類等の分布が、「下」の地域にはチンギリ類はみられず、ゲンジ類及びヤッツンツン類<sup>8</sup>等の分布が固まってみられた。

しかし今回の調査に関する限り、使用されている語形の出自自体が「上」の地域と「下」の地域で異なっている項目は、この「かたあしとび」のみであった。

### 3.3 「上」、「下」の境界、谷相とは異なる地点を境界とする分布

道志村における方言語彙使用の「地域差」は、必ずしも「上」、「下」という地域区

<sup>7</sup> 図6には、語形「ハイ」の分布がみられるが、これは「ハエ」と地理的にほぼ「相補分布」しているため、音声的な変異であって、話者の意識に「ハエ」との区別はないものと考え、ここでは「ハエ」にまとめた。

<sup>8</sup> ここでは、「チンギリ」「チンチン」「チンバ」を「チンギリ類」、「ゲンジ」「ゲンジセ」を「ゲンジ類」、「ヤッツンツン」「ヤッチンチン」を「ヤッツンツン類」と呼ぶ。

分を反映しているわけではなく、谷相とは異なる地点を境界とする分布も存在する。このようなパターンを示したのは、「ひきがえる」、「とかげ」、「なめくじ」、「じばち」の4項目であった。具体例として、図10に「ひきがえる」の分布を示す。

図10「ひきがえる」において、ゴツラ類とゴットラ類<sup>9</sup>の分布に注目すると、谷相より西方に位置する川原畑地区釜之前を境界として、これより以西にゴツラ類が、以東にゴットラ類が、明確に分かれて分布している様子がみられる。

また前掲した図7「とかげ」では、釜之前のさらに西方に位置する川村を境界として、これより以西に「カガビッチョ」、以東に「カガミッチョ(一)」の分布がみられる。このような、谷相以外の地点を境界とする分布の対立は、「上」「下」という、話者が意識する方言境界と語形分布の境界とが必ずしも一致しないということを示唆しているといえる。

### 3.4 学区に特徴的な分布

語形分布の「地域差」を示す分布の一つに、話者の通学していた小学校(学区)の違いを反映したと考えられるパターンが確認された。典型的な例は、図11に示したじゃんけんの「かみ(紙)」である。図11をみると、中神地から谷相にかけて「カミ」のまとまった分布がみられ、それ以外の地域では「フクロ」が使用されている。中神地から谷相にかけて居住する人々に共通するのは、かつて唐沢小学校に通学していた経験があるという点である。従って「カミ」は、道志村内では、唐沢小学校の学区に特徴的な語形であると考えられる。

学区に特徴的な分布を示したものには他に、長又地区から川村地区の人々が通学していた善之木小学校の学区における「かたぐるま」を意味するカタウマ類の分布があった<sup>10</sup>。

### 3.5 近隣地域とのつながり示す分布

<sup>9</sup> ここでは、「ゴツラ」「イボゴツラ」を「ゴツラ類」、「ゴットラ」「イボゴットラ」を「ゴットラ類」と呼ぶ。

<sup>10</sup> 「カタウマ」「カトーマ」「カトンマ」をまとめて「カタウマ類」とすると、善之木小学校の学区では、カタウマ類の集中的な分布がみられるが、これらの以外の学区では、「テングリドー」、「テングルマ」、「テングリ」(「テングリドー類」とする)が分布していた。善之木小学校の学区は、長又地区から川村地区にかけてであるが、実は東紙地地区にカタウマ類を使用すると回答した話者がおり、これまでの議論と一見矛盾する。しかし、この話者は、結婚を機に東神地地区へと転居したのであり、かつては善之木小学校に在学していた。このことから、カタウマ類の分布が善之木小学校の学区に特徴的であるといつて問題はないと考える。

今回調査した語彙の中には、道志村村内において「地域差」のある分布を示すとともに、近隣地域との連続した分布をも示すパターンが確認された。すなわち、(1) 村内では西部に偏った分布を示し、道志村西方の地域とつながりのある分布と、(2) 村内では東部に偏った分布を示し、道志村東方の地域とつながりのある分布の、2パターンである。

### 3.5.1 村の西部に偏った分布

村の西部に偏った分布を示すものとして語彙項目「すぎな」があった。図 12 に示した「すぎな」の村内における分布状況を見ると、村内全域に分布する標準語形「スギナ」を別とすると、「オコワグサ」及び「スギナポーズ」の2つの語形が村の西部に偏った分布を形成している。特に「オコワグサ」の分布は、神地地区東神地以西に集中してみられる。しかし、これは道志村の西部に特徴的な語形とはいえない。それは、永瀬編 1988 において、「オコワグサ」の類例と考えられる「ウmanoオコワ」<sup>11</sup>類の使用が、道志村神地のほか、近隣の富士吉田市下吉田、同市向原、勝山村においても確認されているためである。このように近隣地域も視野に入れた場合、俚言形「オコワグサ」は、道志村の西部に特徴的な語形というよりは、富士吉田から道志村西部にわたる地域に特徴的な語形であるとみるべきであろう。

### 3.5.2 村の東部に偏った分布

村の東部に偏った分布を示すものとして語彙項目「よもぎ」の俚言形「クサノハナ」があった。前掲した図 3 をみてみよう。3.1.1 で述べたように、俚言形「モチグサ」が村内全域に分布しているが、久保地区を中心とした村の東部では、これと併用する形で「クサノハナ」の分布がみられた。この「クサノハナ」は、永瀬編 1988 により、道志村久保地区大野及び上野原町一帯における局地的な分布が確認されている他、その他の先行研究においても、神奈川、山梨、長野各県における分布（鈴木 1983）、東京都多摩における分布（斎藤 1976）が指摘されている。このことから、俚言形「クサノハナ」は、道志村の東部に特徴的な分布というよりもむしろ、この辺りの古い語形ではないかと推定される。

本節では、道志村内における語形分布の「地域差」に関する道志村近隣地域との地理的な連続性を反映している場合を示した。

---

<sup>11</sup> 『山梨県言語地図集』でのウmanoオコワ類の内訳は「ウmanoオコワ」「ウmanoコワ」「ウヌノオコワ」である。今回の調査で「ウmanoオコワ」という語形がみられたのは、村の西端に位置する長又地区のみであった。

#### 4. まとめと課題

以上、2000年度東京都立大学「方言学演習」で行った山梨県道志村調査のうちの、方言語彙の使用に関する地域差について報告してきた。調査結果より、山梨県道志村における高年層による方言語彙の使用に関し、「地域差」が確認されるとともに、その分布のありかたには以下に示すようなパターンが存在することが明らかになった。

- (1) 村内全域に広がっている分布
- (2) 「上」「下」の境、谷相を境界とする分布
- (3) 谷相とは異なる地点を境界とする分布
- (4) 学区に特徴的な分布
- (5) 近隣地域とのつながりを示す分布

特に(3)の「上」、「下」の境界とは異なる地点を境界とする分布は、前年度の調査では示されなかったパターンであり、話者の意識する方言境界と実際の方言境界とが必ずしも一致しないことを確認できた意義は大きい。

もちろん、道志村における方言語彙の分布に関し、今回示したものの以外のパターンが存在する可能性は否定できないし、(1)～(3)に分類したのもでも、マクロ的な視野でみた場合、(5)に該当する可能性のあるものがあるのは確かである。これらのことを確認するには、調査地域そのものを広げ、項目数を増やすなど、より網羅的な調査を行う必要があるだろう。また、今回の報告は村内における「地域差」のパターンの記述にとどまり、道志村における新しい語形の伝播の方向性については考察できなかった。いずれも今後の課題としたい。

#### <参考文献>

- 大西拓一郎(1999)「言語地図による方言研究」 真田信治編(1999)所収  
大橋勝男(1976)『関東地方域方言事象分布地図』 第3巻 桜風社  
国立国語研究所(1966)『日本言語地図① 付録A 日本言語地図解説—方法—』  
小林隆(1999)「方言語彙・表現法の現在」 真田信治編(1999)所収  
真田信治編(1999)『展望 現代の方言』 白帝社  
斎藤秀一(1976)『東京方言集』 国書刊行会  
杉本賢二編(1996)『道志村の方言・俗語集』 私家版  
鈴木樹造(1983)『八王子方言考』 かたくら書店

永瀬治郎編（1988）『山梨県言語地図集』 専修大学出版会  
平井英次（1982）『多摩方言と人情 第二編』 教育報道社  
深沢泉（1979）『増補改訂 甲州方言』 甲陽書房

（やない ひさえ・東京都立大学大学院生）

（くぼ のりひこ・東京都立大学学部生）

（こしだ みつみ・東京都立大学学部生）

<資料> 山梨県



図1 山梨県全図と道志村の位置

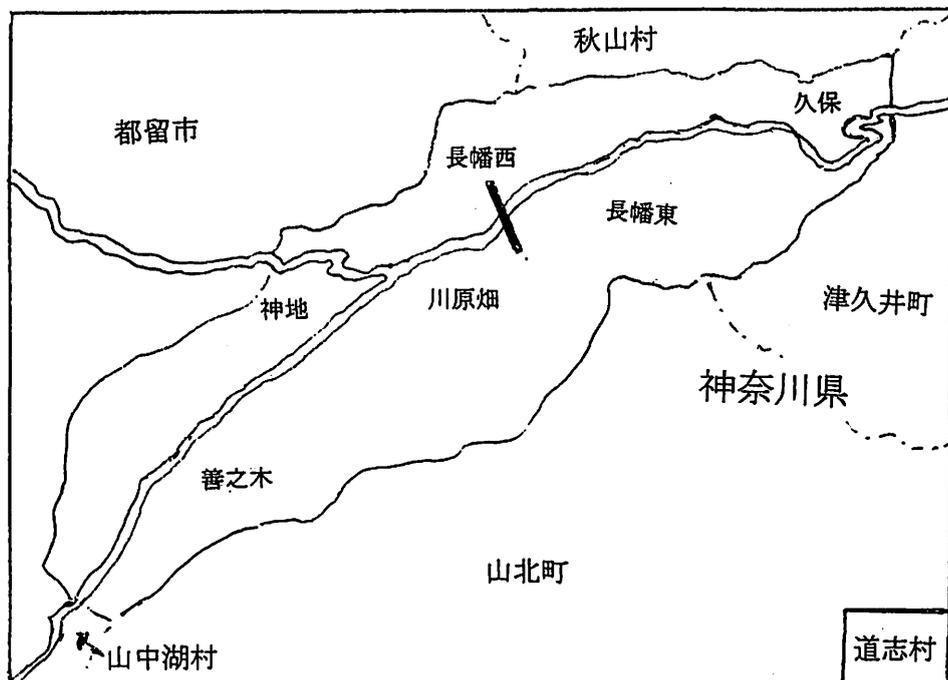


図2 調査地点図 (「上」、「下」の境界を、中央付近の太線で示す)

図3 よもぎ

	地区	小字	ヨモギ	モチダサ	クサノハナ	ウラジ	無回答
上	善之木	長又	○	△			
	善之木	長又		△			
	善之木	白井平		△			
	善之木	板橋		△			
	善之木	板橋		△			ム
	善之木	川村		△			
	善之木	川村		△			
	神地	中神地		△			ム
	神地	中神地		△			
	神地	東神地	○	△			
	神地	東神地		△			
	神地	東神地		△			
	神地	東神地		△			
	神地	東神地		△			
	神地	東神地		△			
	川原畑	釜之前	○	△			
	川原畑	大指	○	△			
	川原畑	大指	○	△			
	川原畑	大指		△			
	川原畑	川原畑	○	△			
川原畑	川原畑		△				
川原畑	川原畑		△				
川原畑	谷相		△				
下	長幡西	西和出	○	△			
	長幡西	西和出		△			
	長幡西	東和出		△			
	長幡西	東和出		△			
	長幡西	竹之本	○	△			
	長幡西	竹之本		△	□		
	長幡西	竹之本		△			
	長幡東	馬場		△			
	長幡東	馬場		△			
	長幡東	大栗		△			
	長幡東	大栗		△	□		
	長幡東	小善地		△			
	長幡東	小善地		△			
	長幡東	椿		△			
	長幡東	椿	○	△			
	長幡東	久保		△			
	長幡東	久保		△	□		
	長幡東	大野		△	□		
	長幡東	大野		△	□		
	長幡東	月夜野		△			
長幡東	月夜野		△				

図4 たけうま

	地区	小字	タケウマ	タカアシ	タカシ	カカシ	タケノコ	無回答
上	善之木	長又	○			◆		
	善之木	長又						
	善之木	白井平	○		▲			
	善之木	板橋			▲			
	善之木	板橋			▲			ム
	善之木	川村	○		▲			
	善之木	川村				□		
	神地	中神地	○					ム
	神地	中神地						
	神地	東神地	○					
	神地	東神地			▲			
	神地	東神地			▲			
	神地	東神地			▲			
	神地	東神地			▲			
	神地	東神地	○		▲			
	神地	東神地	○		▲			
	川原畑	釜之前	○		▲			
	川原畑	大指	○		▲			☆
	川原畑	大指			▲			
	川原畑	大指			▲			
川原畑	大指			▲				
川原畑	川原畑	○		▲				
川原畑	川原畑			▲				
川原畑	川原畑	○		▲				
川原畑	川原畑			▲				
川原畑	谷相			▲				
下	長幡西	西和出				▲		
	長幡西	西和出				▲		
	長幡西	西和出				▲		
	長幡西	東和出				▲		
	長幡西	東和出				▲		
	長幡西	竹之本				▲		
	長幡西	竹之本				▲		
	長幡西	竹之本				▲		
	長幡西	竹之本				▲		
	長幡西	竹之本				▲		
	長幡西	竹之本				▲		
	長幡東	馬場				▲		
	長幡東	馬場				▲		
	長幡東	大栗	○			▲		
	長幡東	大栗	○			▲		
	長幡東	小善地	○			▲		
	長幡東	小善地				▲		
	長幡東	椿	○			▲		
	長幡東	椿	○			▲		
	長幡東	久保	○			▲		
長幡東	久保	○			▲			
長幡東	大野	○			▲			
長幡東	大野	○			▲			
長幡東	月夜野	○			▲			
長幡東	月夜野	○			▲			

図5 つくし

	地区	小字	ツクシ	ツクシ ンポー	ツクシ ポー	ツクシ ノポー	ツクシ ノポー ヤ	スキナ ポーズ	無回答
上	善之木	長又	○	△					
	善之木	長又	○	△					
	善之木	白井平	○	△					
	善之木	板橋	○						
	善之木	板橋	○						△
	善之木	川村	○						
	善之木	川村	○	△					
	神地	中神地	○	△					
	神地	中神地	○						△
	神地	中神地	○	△					
	神地	東神地	○	△					
	神地	東神地	○	△					
	神地	東神地	○	△					
	神地	東神地	○	△					
	神地	東神地	○	△					
	川原畑	釜之前	○	△					
	川原畑	大指	○						
	川原畑	大指	○						
	川原畑	大指	○	△				x	
	川原畑	川原畑	○	△					
川原畑	川原畑	○	△						
川原畑	川原畑	○		▽					
川原畑	川原畑	○							
川原畑	谷相	○							
下	長橋西	西和出	○						
	長橋西	西和出	○						
	長橋西	西和出	○						
	長橋西	東和出	○						
	長橋西	東和出	○						
	長橋西	竹之本	○	△					
	長橋西	竹之本	○						
	長橋西	竹之本	○						
	長橋西	竹之本	○						
	長橋東	馬場	○	△					
	長橋東	馬場	○			▲			
	長橋東	大栗	○				▼		
	長橋東	大栗	○						
	長橋東	大栗	○						
	長橋東	小善地	○						
	長橋東	小善地	○						
	長橋東	椿	○						
	長橋東	椿	○						
	久保	久保	○						
	久保	大野	○						
久保	大野	○	△						
久保	大野	○	△						
久保	月夜野	○							
久保	月夜野	○							

図6 かえる

	地区	小字	カエル	ギヤール	キヤール	ゲール	ケール	無回答
上	善之木	長又	○	◆				
	善之木	長又	○	◆				
	善之木	白井平	○					
	善之木	板橋	○					
	善之木	板橋	○					△
	善之木	川村	○		◆			
	善之木	川村	○		◆			
	神地	中神地	○		◆			
	神地	中神地	○		◆			△
	神地	中神地	○		◆			
	神地	東神地	○		◆			
	神地	東神地	○		◆			
	神地	東神地	○		◆			
	神地	東神地	○		◆			
	神地	東神地	○		◆			
	神地	東神地	○		◆			
	川原畑	釜之前	○		◆			
	川原畑	大指	○		◆			
	川原畑	大指	○		◆			
	川原畑	大指	○		◆			
川原畑	大指	○		◆				
川原畑	川原畑	○		◆				
川原畑	川原畑	○		◆				
川原畑	川原畑	○		◆				
川原畑	川原畑	○		◆				
川原畑	川原畑	○		◆				
川原畑	谷相	○		◆				
下	長橋西	西和出	○					
	長橋西	西和出	○					
	長橋西	西和出	○			★		☆
	長橋西	西和出	○			★		
	長橋西	東和出	○					
	長橋西	東和出	○					☆
	長橋西	竹之本	○			★		
	長橋西	竹之本	○			★		
	長橋西	竹之本	○			★		
	長橋西	竹之本	○			★		
	長橋東	馬場	○			★		
	長橋東	馬場	○			★		
	長橋東	大栗	○			★		
	長橋東	大栗	○			★		☆
	長橋東	大栗	○			★		
	長橋東	小善地	○			★		
	長橋東	小善地	○			★		☆
	長橋東	椿	○			★		☆
	長橋東	椿	○			★		☆
	久保	久保	○					☆
久保	大野	○			◇			
久保	大野	○					☆	
久保	大野	○					☆	
久保	月夜野	○					★	
久保	月夜野	○					★	

図7 とかげ

	地区	小字	とかげ	カガ ピン チョ	カガ ミン チョ	カガ ミン チョー	魚回答
上	善之木	長又	○	▲			
	善之木	長又	○	▲			
	善之木	白井平	○	○			
	善之木	板橋	○	▲			
	善之木	板橋	○				▲
	善之木	川村	○	▲			
	善之木	川村	○		▽		
	善之木	川村	○		▽		
	神地	中神地			▽		
	神地	中神地					▲
	神地	中神地	○				
	神地	東神地				▼	
	神地	東神地			▽		
	神地	東神地	○		▽		
	神地	東神地	○		▽		
	神地	東神地	○		▽		
	神地	東神地	○		▽		
	神地	東神地	○		▽		
	神地	東神地	○		▽		
	川原畑	益之前	○		▽		
川原畑	大指	○		▽			
川原畑	大指	○		▽			
川原畑	大指	○		▽			
川原畑	大指	○		▽			
川原畑	川原畑	○		▽			
川原畑	川原畑	○		▽			
川原畑	川原畑	○		▽			
川原畑	川原畑	○		▽			
川原畑	川原畑	○		▽			
川原畑	谷相	○		▽			
下	長橋西	西和出	○			▼	
	長橋西	西和出				▼	
	長橋西	西和出	○		▽		
	長橋西	東和出	○		▼		
	長橋西	東和出			▼		
	長橋西	竹之本	○		▽		
	長橋西	竹之本			▼		
	長橋西	竹之本	○		▽		
	長橋西	竹之本			▽		
	長橋東	馬場	○		▽		
	長橋東	馬場			▽		
	長橋東	大栗	○		▼		
	長橋東	大栗			▼		
	長橋東	大栗	○		▽		
	長橋東	小善地	○		▽		
	長橋東	小善地			▼		
	長橋東	椿	○		▽		
	長橋東	椿			▼		
	長橋東	久保	○		▽		
	長橋東	久保			▼		
長橋東	大野	○		▽			
長橋東	大野			▼			
長橋東	大野	○		▽			
長橋東	大野			▼			
長橋東	月夜野	○				▼	
長橋東	月夜野					▼	

図8 はえ

	地区	小字	ハエ	ハイ	ヒャー	ヘー	クソン ハエ	クソン ハイ	クソン ヒャー	クソン ヘー	クソン ベ
上	善之木	長又	○		△						
	善之木	長又	○								
	善之木	白井平	○	●							
	善之木	板橋	○								
	善之木	板橋									■
	善之木	川村		●						◆	
	善之木	川村			△						
	善之木	川村			△						
	神地	中神地					◎		◇		
	神地	中神地			●						
	神地	中神地		○	●						
	神地	東神地		○	●	△					
	神地	東神地		○	●	△					
	神地	東神地		○	●	△					
	神地	東神地		○	●	△					
	川原畑	益之前	○				◎				
	川原畑	大指	○					◎			
	川原畑	大指	○		●						
	川原畑	大指	○		●						
	川原畑	大指	○		●						
川原畑	川原畑	○			△		◎	◇			
川原畑	川原畑	○		●	△			◇			
川原畑	川原畑	○		●					◇		
川原畑	谷相	○		●							
下	長橋西	西和出		○		▲					
	長橋西	西和出		○		▲					
	長橋西	西和出		○						◆	
	長橋西	東和出			●						
	長橋西	東和出			●						
	長橋西	竹之本			●						
	長橋西	竹之本			●					◆	
	長橋西	竹之本			●						■
	長橋西	竹之本			●						
	長橋東	馬場		○		●					
	長橋東	馬場			●						
	長橋東	大栗		○		●					
	長橋東	大栗			●						
	長橋東	大栗			●						
	長橋東	小善地		○		●					
	長橋東	小善地			●						
	長橋東	椿		○		●					
	長橋東	椿			●						
	長橋東	久保		○		●					
	長橋東	久保			●						
長橋東	大野		○						▲		
長橋東	大野										
長橋東	大野		○								
長橋東	大野										
長橋東	月夜野		○							▲	
長橋東	月夜野										

図9 かたあしとび

地区	小字	カタアシ	カタアシトビ	チンギリ	チンギリ	チンチン	チンチント	チンコ	シンコ	カタアシチンバ	チンバ	ヤツツン	ヤツツン	ゲンジ	ゲンジセ	ケンケン	無回答
上	香之木	長又		○													
	香之木	長又		○													
	香之木	白井平		○													
	香之木	板橋		○													
	香之木	板橋		○													
	香之木	川村		○													
	香之木	川村		○													
	香之木	中神地		○													
	神地	中神地		○													
	神地	中神地		○													
	神地	東神地		○													
	神地	東神地		○													
	神地	東神地		○													
	神地	東神地		○													
	川原畑	釜之前		○													
	川原畑	大指		○													
川原畑	大指		○														
川原畑	大指		○														
川原畑	大指		○														
川原畑	川原畑		○														
川原畑	川原畑		○														
川原畑	川原畑		○														
川原畑	川原畑		○														
川原畑	谷相		○														
下	長幡西	西和出															
	長幡西	西和出															
	長幡西	西和出															
	長幡西	東和出															
	長幡西	東和出															
	長幡西	竹之本															
	長幡西	竹之本															
	長幡西	竹之本															
	長幡西	竹之本															
	長幡東	馬場															
	長幡東	馬場															
	長幡東	大栗															
	長幡東	大栗															
	長幡東	小畷地															
	長幡東	小畷地															
	久保	久保															
久保	大野																
久保	大野																
久保	大野																
久保	月夜野																
久保	月夜野																

図10 ひきがえる

地区	小字	ヒキガエル	ヒキ	オオヒキ	オオヒキガエル	ゴトパー	ゴトペン	ゴトンス	ゴトビヤ	イゲル	ゴトラ	イゴトラ	ゴトラ	イゴトラ	ゴト	ゴト	無回答
上	香之木	長又															
	香之木	長又	△														
	香之木	白井平			▽												
	香之木	板橋															
	香之木	板橋	△														
	香之木	川村															
	香之木	川村	△														
	香之木	中神地															
	神地	中神地															
	神地	中神地															
	神地	東神地															
	神地	東神地															
	神地	東神地	△														
	神地	東神地			▽												
	川原畑	釜之前	△														
	川原畑	大指															
川原畑	大指																
川原畑	大指																
川原畑	大指																
川原畑	川原畑	△															
川原畑	川原畑			▽													
川原畑	川原畑			▽													
川原畑	川原畑			▽													
川原畑	川原畑			▽													
川原畑	谷相																
下	長幡西	西和出			▽												
	長幡西	西和出			▽												
	長幡西	西和出															
	長幡西	東和出															
	長幡西	東和出															
	長幡西	竹之本															
	長幡西	竹之本	△														
	長幡西	竹之本															
	長幡西	竹之本															
	長幡西	竹之本															
	長幡東	馬場															
	長幡東	馬場	△														
	長幡東	大栗	△														
	長幡東	大栗															
	長幡東	大栗															
	長幡東	小畷地															
長幡東	小畷地																
久保	久保																
久保	大野																
久保	大野																
久保	大野																
久保	月夜野																
久保	月夜野																

図11 かみ (じゃんけん)

	地区	小字	小学校	パー	バラ	パチ	フクロ	カミ	ヒラキ	オッピ ラキ	無回答
上	善之木	長又	善之木小学校				×				
	善之木	長又	善之木小学校				×	★			
	善之木	白井平	善之木小学校	○							
	善之木	板橋	善之木小学校				×				
	善之木	板橋	善之木小学校								ム
	善之木	川村	善之木小学校				×				
	善之木	川村	善之木小学校				×				
	神地	中神地	唐沢小学校					★			
	神地	中神地	唐沢小学校						▽	▽	ム
	神地	中神地	唐沢小学校								
	神地	東神地	唐沢小学校					★			
	神地	東神地	唐沢小学校			■		★			
	神地	東神地	唐沢小学校	○				★			
	神地	東神地	善之木小学校	○				★			
	神地	東神地	唐沢小学校					★			
	川原畑	釜之前	唐沢小学校	○				★			
	川原畑	大指	唐沢小学校						★		
	川原畑	大指	唐沢小学校						★		
	川原畑	大指	唐沢小学校			□			★		
	川原畑	大指	唐沢小学校	○		■			★		
川原畑	川原畑	唐沢小学校						★			
川原畑	川原畑	唐沢小学校						★			
川原畑	川原畑	唐沢小学校						★			
川原畑	谷相	唐沢小学校	○					★			
下	長幡西	西和出	長幡小学校	○			×				
	長幡西	西和出	道志小学校				×				
	長幡西	西和出	道志小学校				×				
	長幡西	東和出	道志小学校				×				
	長幡西	東和出	道志小学校				×				
	長幡西	竹之本	道志小学校				×				
	長幡西	竹之本	道志小学校				×				
	長幡西	竹之本	道志小学校				×				
	長幡西	竹之本	道志小学校				×				
	長幡東	馬場	道志小学校				×				
	長幡東	馬場	道志小学校				×				
	長幡東	大栗	道志小学校	○							ム
	長幡東	大栗	道志小学校	○					★		
	長幡東	大栗	道志小学校								
	長幡東	小幡地	道志小学校				×				
	長幡東	小幡地	道志小学校								ム
	長幡東	椿	道志小学校				×				
	長幡東	椿	道志小学校				×				
	長幡東	椿	道志小学校				×				
	久保	久保	久保分校				×				
久保	大野	久保分校				×					
久保	大野	道志小学校				×					
久保	大野	道志小学校				×					
久保	月夜野	月夜野分校	○								
久保	月夜野	月夜野分校				×					

図12 すぎな

	地区	小字	スギナ	スギナ ボーズ	ウマノ オコワ	オコワ グサ	ツクシ	無回答
上	善之木	長又	○		□			
	善之木	長又		●		■		
	善之木	白井平	○			■		
	善之木	板橋				■		ム
	善之木	板橋						
	善之木	川村	○	●				
	善之木	川村	○					
	神地	中神地				■		
	神地	中神地				■		
	神地	中神地				■		
	神地	東神地	○			■		
	神地	東神地	○			■		
	神地	東神地	○			■		
	神地	東神地	○			■		
	神地	東神地	○			■		ム
	神地	東神地	○			■		
	川原畑	釜之前	○					
川原畑	大指	○						
川原畑	大指	○		●				
川原畑	大指	○						
川原畑	川原畑	○						
川原畑	川原畑	○						
川原畑	川原畑	○		●				
川原畑	川原畑	○						
川原畑	谷相	○						
下	長幡西	西和出	○		●		×	
	長幡西	西和出	○					
	長幡西	西和出	○					
	長幡西	東和出	○					
	長幡西	東和出	○					
	長幡西	竹之本	○					
	長幡西	竹之本	○					
	長幡西	竹之本	○					
	長幡西	竹之本	○					
	長幡東	馬場	○					
	長幡東	馬場	○					
	長幡東	大栗	○					ム
	長幡東	大栗	○					
	長幡東	大栗	○					
	長幡東	小幡地	○					
	長幡東	小幡地	○					×
	長幡東	椿	○					
長幡東	椿	○						
久保	久保	○						
久保	大野	○						
久保	大野	○						
久保	大野	○						
久保	月夜野	○						
久保	月夜野	○					ム	